

# 遠藤のぶゆき NEWS vol.01

2015年12月発行：遠藤のぶゆき事務所 仙台市青葉区錦ヶ丘7-7-10 TEL/FAX:022-724-7037

## 公約の実現へ 県議会本会議で初の一般質問！

宮城県議選後、初の県議会となった第354回宮城県議会定例会。新人の遠藤のぶゆきは、12月9日、一般質問に登壇しました。

選挙戦で訴えた「命を守る政治」の実現へ、①救急医療の充実強化②いじめ根絶に向けた対策③東日本大震災の風化防止——の大綱3点について、村井嘉浩知事はじめ、



県執行部の考えをただし、

具体的な政策を提言しました。

村井知事は救急医療について、「救急搬送時間の短縮を図ることは重要な課題。救急医療体制の一層の充実に努める」と述べ、県の救急医療情報システムの抜本的な改善や、AEDの設置促進、ドクターヘリの効果的な運用などに取り組むと表明。また、いじめ根絶に向けた対策の強化や、震災の教訓を語り継ぐ「語り部」への支援充実などで震災の風化防止に取り組む考えを強調しました。



## 公明党提案の2本の意見書が全会一致で国に提出へ

遠藤のぶゆきは、公明党県議団の政調会長に就任しました。政調会長会議では、国に対する意見書を2本提案。2本とも全会派の賛同を得て、国に提出されることになりました。

- ① 「地方大学の機能強化を求める意見書」
- ② 「脳脊髄液減少症に対するブラッドパッチ療法の保険適用及び治療推進を求める意見書」

なお、遠藤のぶゆきは、県議会の保健福祉員会に所属しています。



## 一般質問の要旨（2015年12月9日）



### 1、救急医療の充実強化について

Q 1：宮城県の救急搬送時間は全国ワースト5位の長さである。救急医療の充実強化へ、総合的な対策を強力に推進すべきだ。

**村井知事** 搬送時間の短縮を図ることは重要な課題だ。救急医療体制の一層の充実に努める。

Q 2：受け入れ先病院の選定を迅速化する目的で運用されている県の救急医療情報システムは現在、救急現場でほとんど活用されておらず、税金のムダ遣いと言われても仕方がない。先進例を参考に抜本的に見直すべきだ。

**保健福祉部長** 他県の事例等も参考とし、より効果的なシステムの在り方について、検討していく。

Q 3：子どもの救急電話相談事業（#8000）の対象を拡大した「大人版救急電話相談」を創設すべきだ。

**保健福祉部長** 調査や情報収集等に努め、検討を進める。

Q 4：救命率の向上と応急手当講習の普及拡大に向け、AEDを県営住宅に設置してはどうか。現在、県内101団地のうち、AEDを設置しているのはわずか6団地である。

**村井知事** 県営住宅では、AED付き自動販売機の導入を図り、現在6団地に設置されている。未設置の県営住宅についても、自動販売機の取扱事業者にも今後とも積極的に設置を働きかける。

Q 5：来年秋に導入されるドクターヘリについて、より多くのランデブーポイント（離着陸場）を設置するため、地域住民の声を反映する仕組みを検討してはどうか。

**保健福祉部長** 地域住民から候補地の推薦があった場合には、消防機関等と現地調査等を実施する。

### ＜質問の前に調査活動を実施＞



↑ 埼玉県の救急システムを調査



↑ 仙台市の救急体制の課題を調査

### 2、いじめの根絶に向けた対策について

Q 6：いじめは重大な人権侵害であり、決して許されない。いじめ根絶に向けた知事の決意は。

**村井知事** いじめは人権を侵害する、絶対に許すことのできない行為であり、その根絶に向け県全体で取り組まなければならない。

Q 7：いじめ根絶に向け、県独自の条例を制定し、県を挙げて啓発運動を展開すべきだ。

**村井知事** 地域社会一体となったいじめ根絶へ向けての取り組みを進める。県独自の条例制定は、各取組の進捗と効果を見極めながら研究を進めてまいりたい。

Q 8：学校福祉の専門職・スクールソーシャルワーカーを県内の全小中高校に配置すべきだ。

**教育長** スクールソーシャルワーカーは、学校の実情やニーズを踏まえて配置を拡充していきたい。

### 3、東日本大震災の風化防止について



Q 9：被災地では、震災の経験や教訓を語り継ぐ「語り部」が活動している。未永く活動できるよう、バックアップしていくべきだ。

**経済商工観光部長** 語り部の活動は、防災や減災、さらには震災の風化防止の観点から重要。県として様々な支援を続けていく。

Q 10：「命の尊さ」や「助け合いの大切さ」を知ってもらうため、子どもたちが語り部に触れる機会を増やしてほしい。

**教育長** 沿岸部の被災地での体験的な学習を通して、命の尊さや助け合いの大切さ、災害の備えなどを子どもたちに学ばせることは重要だ。市町村教育委員会と連携して学校に働き掛けていく。

詳しくはホームページをご覧ください！ <http://www.komei.or.jp/km/miyagi-endo-nobuyuki/>  
＜インターネット録画中継＞ <http://www.pref.miyagi.jp/site/kengikai/2711gikai-media.html>